**令和２年度愛媛県高等学校ボクシング新人大会要項**

**（兼、第32回全国高等学校ボクシング選抜大会愛媛県予選）**

　１　主　　催　　　愛媛県高等学校体育連盟

　２　期　　日　　　令和２年11月21日（土）、22日（日）、23日（月）※予備日

　３　会　　場　　　松山工業高等学校　第２体育館

　４　日　　程　　　11月21日（土） エントリーズチェック

７：20　点　　　呼　（１回戦出場階級の選手）

　　　　　　　　　　　　　　　　 ７：30　健診・計量　　かどた脳神経外科

監督会議・組合せ抽選会

　　　　　　　　　　 　　　　　　　 　 14：00 開会式

14：15 競技開始（各階級１回戦）

　　　　　　　　　　11月22日（日）　 ７：50　点　　　呼

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ８：00　健診・計量　　松山工業高校

　　　　　　　　　　　　 11：00　競技開始（各階級決勝）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　競技終了後　閉会式

　 　11月23日（月）　 ※予備日（階級に５名以上の出場者がいた場合）

７：50　点　　　呼

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ８：00　健診・計量　　松山工業高校

　　　　　　　　　　　　 11：00　競技開始（各階級決勝）

　５　監督会議及び組合せ抽選　　11月21日（土）　健診・計量終了後　松山工業高校

　６　申込締切　　　令和２年10月23日（金）17時　必着

　７　申込場所　　　〒791－8604　松山市山西町663

新田高等学校　菊地　孝啓　宛

　８　種　　目　　　男子　ピン級からミドル級までの８階級

　　　　　　　　　　女子　ピン級　ライトフライ級　フライ級　バンタム級　ライト級の５階級

　９　競技規則　　（一社）日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

10　競技方法　　（１）　個人戦のみとする。

　　　　　　　　　（２）　１ラウンド２分とし、３ラウンドで行う。

　　　　　　　　　（３）　トーナメント方式で行い、優勝、準優勝を決定する。

　　　　　　　　　　　　　ただし、３位決定戦は行わない。

11 引率・監督　（１）　引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。

　　　　（２）　チーフセコンド・サブセコンドは令和２年度（一社）日本ボクシング

連盟に登録済みの者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責

任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入すること。

　　　　（３）　未登録引率者のみの参加の場合、競技中のチーフセコンド・サブセコ

ンド業務を他の登録者に依頼してもよい。

　　　　　　　　　（４）　チーフセカンド、サブセカンドは日本ボクシング連盟が認定するセカ

ンド資格を取得していなければならない。（また、 セカンドを行う者

（指導者）は、インテグリティ研修に必ず参加しなければならない。

セカンド手帳を提出し，実績の証明を受け参加したものに限りその大

会のチーフセカンドを務めることができる。）試合時には必ずセカンド

ワッペンを着用すること。　※参加申込書に記入し提出すること。

12 参加資格　　（１）　選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期程

を含む）に在籍する生徒であること。

　　　　（２）　選手は、県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、大会参加の資格

を得た者に限る。

（３） 年齢は平成15年４月２日以降に生まれた者、但し同一学年での出場

は１回限りとする。

（４） 転校後６ヶ月未満の者の参加は認めない。

　　　　（５）　参加申し込み締切日までに（一社）日本ボクシング連盟へ令和２年

度の登録済み生徒であること。（未登録者は申込を受け付けない。）

　　　　　　　　　（６） 選手は、選手手帳の携行を必要とする。不携行の場合は出場させない

　　　　　　　　　　　ア　今大会期間中の日数分の余白があるもので、写真が貼られているもの

であること。また余白のない場合は、前選手手帳と新しい選手手帳を

両方持参すること。

　　　　　　　　　　 イ　令和２年度の健康診断記録に必要事項が記載され、医師の署名捺印

がされていること。

　　　　　　　　　　　ウ　頭部単純ＣＴ検査の結果を診断書として、愛媛県ボクシング連盟医事

委員会に必ず提出すること。診断書は、くも膜のう胞の有無が明記さ

れたものでなければならない。

　　　　（７) 競技参加資格は実練習期間６ヶ月を超えている者に限る。

（８） 選手は、スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」若しくはこれと同

等以上の保証額のある傷害保険に必ず加入していること。（加入証明

のコピーを提出のこと。）

（９） 女子は演技競技Ｃ級以上の認定を受けていること。

13 連絡事項　　（１） ヘッドガードは、AIBA及び日連の検定品で競技者所有のヘッドガード

の使用を認める。なお、競技者はコーナーカラー（赤色および青色）

のヘッドガードを着用しなければならない。

　　　　　　　　 （２）　カッププロテクター、バンテージ、マウスピースは、各自持参するこ

と。（ただしガムシールドは赤色またはそれに類する色の使用を禁止す

る。）

　　　　　　　　 （３）　ユニフォームはコーナーカラーの（赤色および青色）のものを着用す

る。ベルトラインは６ｃｍから10ｃｍ幅の赤・青以外の色で、明白

に識別されていること。県名のないものは，ゼッケンをつけること。

（ただしハガキ２枚大とする）

　　　　　　　　　（４）　競技中の疾病・傷害等の応急措置は主催者で行うが、その後の責任は

負わない。参加選手は健康保険証を持参すること。

　　　　　　　　　（５） 大会に参加する選手は必ず引率責任者によって引率されるものとし

その引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。

（６）　セコンドは、トレーニングウェア（ズボンは必ず長ズボン）を着用

すること。ジーンズその他の服装にてセコンドを行うことは認めない。

（７）　刺青に関してはその大小、場所を問わず、またシールによるものであ

っても出場における資格を失う。

（８）　日本連盟指導事項（あごひげ、頭髪、染色等）について事前に指導し

　　　　て大会に臨むこと。違反者は失格とする。

根拠として、一般社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック　第

10章を参照すること。

10-２毛髪

前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。髪の長さは眉・耳たぶ・頚の境界を越えてはならない。長髪の女性は髪をゴムでまとめ、ヘアネットかスイミングキャップをかぶってまとめた後にヘッドギアを装着しなければならない。ヘアピンなどのアクセサリーは使用してはならない。

10-３ひげ・つけまつげ

クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の眼に入り角膜擦過傷を引き起こす可能性があるため危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。

10-４身体装飾品・器械、入れ墨・タトゥー

ボクシング競技では、ピアスなどの身体装飾品の装着は認められない。また、身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。なお、植え込み器械（電子機器を含む）または身体機能を変える可能性のある器械の装着については、循環器専門医の許可（診断書）があれば、要注意下に競技可能である。

（９） プロ主催の競技会に参加し、金品を受け取る等、アマチュア資格に

反している者は参加を認めない。

（10） 上記以外の競技規則については、（一社）日本ボクンング連盟の規則

と同様とする。また、上記事項に抵触した場合、出場を認めないこと

がある。その判断は、当大会の主催者である愛媛県高等学校体育連盟

が行う。

（11）　 今大会において各階級の優勝者は、12月に高知県で行われる第13回四国高等学校ボクシング新人大会への出場権を得る。

（12） 今大会は第32回全国高等学校ボクシング選抜大会愛媛県予選を兼ねるが、10月23日の選抜大会開催可否に基づき、大会運営を行うものとする。選抜大会中止の際は、令和２年度愛媛県高等学校ボクシング新人大会として大会を開催する。